

# 豊玉中だより

## 教育目標

心身ともに健康で自主的に努力する誠実な人となることをめざす  
1 誠実 2 敬愛 3 努力

練馬区立豊玉中学校

校長 栗原 満

平成30年度 第2号

[平成30年4月23日発行]

e-mail info@toyotama-j.nerima-ky.ed.jp

## 平成30年度 学校経営方針

校長 栗原 満

平成30年度、全校生徒278名でスタートいたしました。集団としての規律を保ち相互に良い影響を与えながら、一人一人の生徒が輝き、個性を伸ばし、自己実現に向けていきいきと活動していただくことを願っています。

今年度も、平成28年度からの目指す学校像、教職員像、生徒像を掲げ、またスローガンとして「さわやかで明るい学校」「落ち着いた学校」「潤いのある学校」を土台とし、開校71年目に向けて、さらに発展させていきたいと考えています。今年度の教育活動開始に向け、新たな学校づくり、そしてこれからの生徒たちに基本的な生活習慣の定着と確かな学力を育成し、豊かな心の育成を目指して、取り組んでまいります。学校は教育を意図的・計画的に実施していくことが大切です。そのために本校の教育課程にそって、学校の教育目標の達成に向けて、教育活動を進めていきます。本校の教育目標は下記に掲げた通りです。目標の達成を目指し、教職員一同心を合わせ教育活動に取り組んでまいります。保護者・地域の皆様のご協力をお願いいたします。子どもたちの健やかな成長は、愛情豊かな保護者の皆様と、じっと見守ってくださる地域の方々、そして厳しく優しく日々の教育活動に努める教職員の三者の結集のもとでなされます。よろしくをお願いいたします。

### 1 教育目標

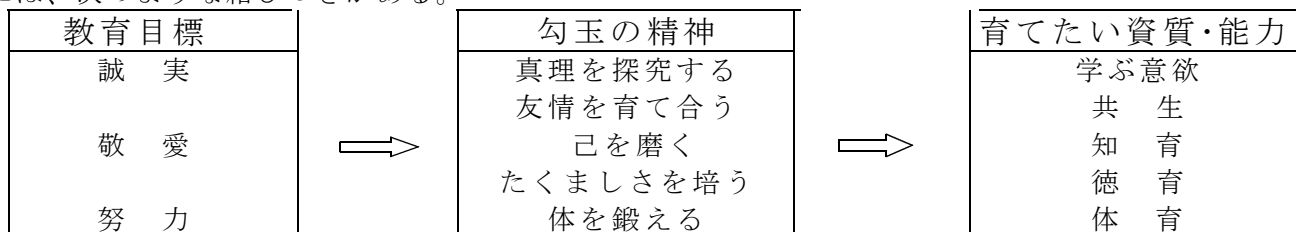
人間尊重の精神を基調とし、21世紀に生きる人として自ら学ぶ意欲をもち、社会の変化に主体的に対応できる心豊かでたくましい人間の育成を図るために、生徒、学校及び地域の実態に則し、次の教育目標を設定した。心身ともに健康で自主的に努力する誠実な人となることをめざす

誠実・敬愛・努力

本校に受け継がれている教育活動の根幹にかかわる目標である。

【勾玉の精神】 真理を探究する たくましさを培う 友情を育てる 己を磨く 体を鍛える

勾玉の精神は、目指すべき生徒の姿として設定されたものである。教育目標と「勾玉の精神」の間には、次のような結びつきがある。



### 2 学校経営方針の柱

「信頼と誇り」に基づいた、学校力の向上

- 生徒、家庭・地域・教職員から信頼され、本校に通うことを誇りとする学校を創る。
- 相互に機能する組織体となり、意図的・計画的・発展的に教育活動を推進する。
- 教員の授業力・指導力や職員の専門性を一層高め、生徒のよりよい成長を導く。

### 3 目指す学校・教職員・生徒像

目指す学校像 ー生徒が登校を楽しみにし、教職員が指導に喜びを持つ学校ー

- さわやかな挨拶の飛び交う明るい学校
- しっかりと学習に取り組むことのできる落ち着いた学校

○ 人間としてお互いに尊敬し、尊重し合う温かな心の通う学校  
目指す教職員像 ー教師という仕事に感謝と喜びをー

- 生徒から学ぶ姿勢を基本として生徒がわかる授業を実践
- 生徒の良さを引き出すために知恵を出しあう。
- 生徒や保護者から信頼され尊敬される先生

目指す生徒像 ー誇れる上級生、見習う下級生ー

- 自ら考え、創造する生徒
- 礼儀を重んじ、他をおもいやる生徒
- 心身を鍛え、根気強く成し遂げる生徒

#### 4 学校経営方針を具現化するために(今年度の重点項目)

昨年度に続き、「誇れる上級生、見習う下級生」を目指す生徒像をかかげ、その実現に向けて、教職員がまとまり、指導に喜びをもって教育活動を展開することが、目指す学校像の実現に至ると考える。また、教職員は常に広い視野に立って、今日的な課題を的確に把握すると共に、教育の原点や本質を求め、教育公務員としての自覚のもとに、責任と誠意をもって努力を積み重ねていく必要がある。学校経営の重点課題を確かな学力の定着と生徒の健全育成におき、

○さわやかで明るい学校 ○落ちついた学校 ○潤いのある学校 をかかげ努力していく。

【指導の基本となる6つの観点】

○確かな学力 ○豊かな心 ○健全育成 ○進路指導 ○健やかな体 ○特別支援教育

1. <目標>前年度以上に落ち着いた学校生活を確立する

<具体的な方法>

・基本的な生活習慣の確立

生徒目標(あいさつ、言葉づかい、服装、時間、環境美化)の徹底

- ・施設設備を丁寧にきれいに使用する
- ・生徒と多くの関わりをもち、生徒理解に努める
- ・問題行動は素早い対応、早期指導で、全教職員が一体となって臨む一枚岩の学校体制で取り組む(共通理解・共通実践)
- ・不登校生徒への適切な対応する(不登校生徒ゼロを目指して)

<評価方法・目標値> 学校評価を活用 肯定的意見80%以上

2. <目標>前年度以上に授業の充実を図る

<具体的な方法>

- ・規律ある授業を確立する
- ・主体的・対話的で深い学び授業を展開する
- ・導入展開において、興味関心をもたせるしかけの授業を展開する
- ・学習に向かう姿勢を高める(集中して授業を受ける)
- ・個別指導や数学と英語での少人数習熟度に応じた指導により、基礎的・基本的な内容の定着を図ると共に、伸びる生徒を伸ばす
- ・道徳の授業を大切にし、体験活動等を生かした心に響く道徳指導を実践する
- ・調べ学習、情報活用能力を高める学習、表現力を高める学習を推進する

<評価方法・目標値> 学校評価を活用 肯定的意見80%以上

3. <目標>家庭学習の定着を確立する

<具体的な方法>

- ・朝学習の取り組み、朝読書の取り組みを推進する
- ・各教科の指導、宿題、課題等の取り組みを推進する
- ・各教科の指導、宿題、課題等の取り組みを推進する

<評価方法・目標値> 学校評価を活用 肯定的意見80%以上

4. <目標>あいさつ、校歌にしっかり取り組む

<具体的な方法>

- ・あいさつに力をいれ、取り組む(各教科授業始め、終わりのあいさつ徹底)
- ・大きな声で校歌を歌う取り組み

<評価方法・目標値> 学校評価を活用 肯定的意見80%以上

5. <目標>小中一貫教育の連携を図る

<具体的な方法>

- ・校区别協議会、合同研修会の充実を図る
- ・小学生体験入学の実施する
- ・夏期休業中、リトル・チィチャーの実施（小学校の補習教室のボランティア）
- ・小中の作品を交換して鑑賞する（1月実施）
- ・朝、小学校へ出向き、挨拶運動の実施する
- ・小中フォーラムへ向けて研修の充実と発表のまとめをする

＜評価方法・目標値＞ 学校評価を活用 肯定的意見80%以上

#### 6. ＜目標＞部活動の充実を図る

＜具体的な方法＞

- ・各部とも都大会を目指す
- ・文武両道を目指す
- ・入部して3年間続けて活動できるよう支援する
- ・全体部活保護者会、各部活動保護者会で、活動の理解と協力を得る

＜評価方法・目標値＞ 学校評価を活用 肯定的意見80%以上

#### 7. ＜目標＞行事の充実を図る

＜具体的な方法＞

- ・三大行事、運動会・学習発表会・3年生送る会の伝統の継承と充実
- ・1, 2年の校外学習の事前事後指導とまとめの充実
- ・各学年の宿泊を伴う行事については、事前事後学習とまとめの充実
- ・学校地域連携事業を取り入れた行事の推進
- ・各行事での生徒の活動を多く取り入れ、リーダーの育成を図る

＜評価方法・目標値＞ 学校評価を活用 肯定的意見80%以上

#### 8. ＜目標＞地域・保護者から信頼される学校

＜具体的な方法＞

- ・ホームページの充実を図り、保護者・地域に発信する
- ・教職員一人ひとりが常に専門職として自覚を持ち、資質の向上に努める
- ・災害、事故発生時の迅速で適切な処置と、誠意ある対応に努める
- ・学校公開日、公開週間を充実させ、教育活動の内容を積極的に保護者、地域に知らせ多くの参加を促す
- ・地域のボランティア活動に積極的に参加し、地域の方々と交流を図る

＜評価方法・目標値＞ 学校評価を活用 肯定的意見80%以上

## 7 中期経営目標

- 1 各学年のリーダーを教職員が意識して育成する  
→ 学年朝礼、学級活動、委員会活動、部活動、行事等にて
- 2 基本的な生活習慣の確立 → 時間を守る、あいさつ、身だしなみの徹底する  
けじめある生活を徹底する
- 3 豊かな心を育む → 道徳授業の充実、教育相談活動の充実を図る  
自己肯定感をもたせるための指導の工夫をする  
他人を思いやる心、生命、人権を尊重する資質・能力等、生徒が豊かな人間性と社会性を育成する
- 4 不登校生徒の減少 → 校内体制の確立を図る  
家庭との連携、SC・心の相談員との連携を図る  
担任は家庭へ定期的に連絡、家庭訪問、プリントを自宅に届ける。
- 5 生徒数の確保 → 小中一貫の取り組みをさらに推進する  
平成31年度も新1年生3クラス確保を目指す  
6年生による中学校体験、説明会の充実を図る